

平成 26 年度 生駒市行政改革推進委員会
第 3 回 会議録

開催日時 平成 26 年 8 月 11 日（月） 午後 1 時～
開催場所 生駒市コミュニティセンター 2 階 206 会議室

出席者

（委 員） 森委員長、松山副委員長、藤堂委員、松尾委員、岡本委員、奥田委員、楠委員、松本委員

（事務局） 今井企画財政部長、西川企画政策課長、岡田企画政策課課長補佐、島田企画政策課係員、片山企画政策課係員

（傍聴者） なし

欠席者 なし

1 開会

2 案件

（1）「補助金等の見直しに関する提言書【平成 25 年度】」に対する平成 26 年度予算での対応について

（事務局） 前回の議論を踏まえて修正を行った。下線部が追加した箇所である。廃止と提言されたものについて、提言内容を尊重し数年後の廃止に向けた検討を要請する文言を記載している。レイアウト等は変更しているが、内容に関しては大きく変わっていない。

（森委員長） 意見はあるか。

（岡本委員） 下線部の「数年後の廃止」という文言について修正してほしい。あいまいな印象を受けるので、明確に言い切るか、「数年後」を削除するべきだと思う。

（森委員長） これについて意見はあるか。

（事務局） 提言として、いつまでにという期限がなかったので、事務局としては早急に検討するという認識である。早急にというニュアンスを含むために、「数年後」という文言を削除する形で対応する。

（森委員長） その方が取組に対して強い意志が見て取れる。この修正でよろしいか。

- (各委員) はい。
- (森委員長) 他に意見はあるか。
- (奥田委員) 下線部に「対応が困難であることは理解できるが、」とあるが、対応が困難であるものは一部なのではないか。「対応が困難なものがあることは理解できるが、」に修正した方が良いのではないか。
- (森委員長) 確かに誤解を招く恐れがある。そのように修正をお願いしたい。
- (松山副委員長) 3年前に廃止の提言を受けたにも関わらず継続されており、今回の提言でも廃止の提言が反映されていないものがある。
- (事務局) 様々な事情があり反映できていない。担当課もそのことは十分に認識しているので、次回の提言の際には意見を反映できるよう検討したい。
- (森委員長) 委員会の意見が反映されるように、更に強いトーンで記載するのもひとつの方法である。
- (事務局) 事務局の意見としては、担当課も十分認識しているので、この文章で適当だと思う。
- (森委員長) よろしいか。
- (各委員) はい。
- (森委員長) 各担当課に伝えていただき、提言を踏まえた対応ができるようにしてほしい。他に意見はあるか。
- (各委員) 特になし。

(2) 前期行動計画の取組状況の確認について

- (森委員長) 松山副委員長から資料を提出していただいている。これについて説明をお願いします。
- (松山副委員長) 日経グローバルという雑誌の中で「経営革新度調査ランキング」が出ている。生駒市については、全国で33位という好成績である。しかし、評価項目内の透明度については全国で100位以下である。対してこの前期行動計画の取組状況においては、透明性について軒並み高評価になっている。こういった基準で評価がなされているか分からないが、内部と外部で認識のずれがあるのではないか。他の評価項目に関しては、比較的高評価で、特に市民参加度について高い評価を得ている。外部からの評価を市民に向けてもっと積極的にPRしていくべきだと思う。
- (森委員長) 意見はあるか。
- (松本委員) 透明度の評価と関係しているか分からないが、サンヨースポーツセンター購入と北大和グラウンド売却の関係について、詳しく周知されていなかったように思う。

- (藤堂委員) 住民に情報が伝わる前に報道発表があることが多く、事後報告的な情報公開に不満を持っている住民が多い。事前に住民の理解を得るような説明をすることなく、政策が行われている。住民と話し合いの上で政策を進めてほしいという声が実際にあがっている。
- (松山副委員長) サンヨースポーツセンター購入に際して、事前に住民説明会は行われたのか。
- (藤堂委員) 当該地域の住民に対して説明は行われているが、当該地域以外の住民に対して説明が不十分なのだと思う。
- (森委員長) 「経営革新度調査ランキング」においては、評価項目について個別に見ると優劣まちまちではあるが、全体的に見ると高い評価を得ている。こういった外部の評価も踏まえて、前期行動計画の取組状況について見ていきたいと思う。まず、取組状況評価の概要と流れについて意見はあるか。
- (各委員) 特になし。
- (森委員長) 次に(1)取組状況評価結果の総括について意見はあるか。
- (岡本委員) 総括のコメントが「D評価となったものが2項目あった。」で終わっている。重点項目ではないが、E評価になった項目もあるので記載するべきだと思う。
- (奥田委員) 重点項目とその他を分けて記載すればいいのではないか。
- (森委員長) 客観性を持たせて書いたほうが良い。文章を切って後ろに付け加えることもひとつの方法である。
- (事務局) 後ろに付け加えて記載したいと思う。
- (森委員長) そのようにお願いしたい。他に意見はあるか。
- (奥田委員) 第1回会議でいただいた資料(前期行動計画の取組状況)と重点項目の数が合致しないように思う。
- (事務局) 前期行動計画の取組状況のNo4「市民、NPOなど協働のパートナーへの支援」について[重点]の記載がもれている。総括の資料の数が正しい。
- (奥田委員) 総括のコメントで平成24年度に「高い成果が得られた」、「予定どおりの成果が得られた」となった割合が約70%となっているが、計算するとちょうど75%となるので、はっきり75%と記載した方が良いのではないか。
- (森委員長) その方が正確なので、75%という記載に修正してもらいたい。他に意見はあるか。
- (各委員) 特になし。
- (森委員長) 続いて、(2)今後の課題等について意見はあるか。
- (岡本委員) 「取組の成果についても、アウトカムがより明確に記載されるべきである。」とあるが、意味が重複しているように思う。「取組の目標や達成状

況が、どのようなアウトカムを目指しているのかがより明確に記載されるべきである。」に修正してはどうか。

(藤堂委員) 政策効果をアウトカムに言い換える必要はあるのか。市民の方が見たときに分かりにくいのではないか。

(松尾委員) 確かに横文字が多用されていると分かりづらいように思う。二回目は省略して、「取組の目標や達成状況が、より明確に記載されるべきである。」と記載してはどうか。

(森委員長) どのように記載するかは別にして、省略しないほうが正確に伝わるように思う。市民の方向けに発信するのであれば「政策効果」の方が伝わりやすいと思う。アウトカムを政策効果に変更ということによろしいか。

(岡本委員) 行政の効果測定は、実際に行ったかどうか。それを明確にするためにはアウトカムの方が分かりやすいように思う。しかし、アウトカムの意味を理解している人にとっては分かりやすい反面、そうでない人にとっては難しいように思う。

(森委員長) より多くの市民の方にイメージを掴んでもらうためには、政策効果の方が適当であると思う。よろしいか。

(各委員) はい。

(森委員長) 他に意見はあるか。

(松山副委員長) 少し戻るが、(1) 評価結果の総括 ①「I 市民との信頼関係に基づいたまちづくりの推進」のコメント欄で「(6) 市民自治協議会の導入に向けた取組」が D 評価であることが記載されていないので、明記するべきだと思う。

(森委員長) 確かに他の項目との整合性を図るためにも明記するべきだと思う。そのようにお願いしたい。

(松山副委員長) ②「II 経営的視点に基づいた効率的な行政サービスの提供」のコメント欄について、「生駒市独自の監査制度体制構築の検討等も含めて、」とあるが、独自の監査制度体制構築は現実的ではないように思う。国の監査制度体制を基に工夫や改善を促す書き方が方がいいのではないか。

(森委員長) 「生駒市の監査制度体制の向上に向けた検討等も含めて、」に修正してはどうか。

(各委員) 異議なし。

(森委員長) 続いて、各項目における個別の評価・コメントについて見ていきたいと思う。

1. 行政運営の状況の分かりやすい情報提供・効果的な情報共有

(森委員長) 意見はあるか。

- (岡本委員) 広報紙に対する市民の評価が高かった旨を記載すべき。また、コメント案では今現在、ホームページが暗いかのような印象を受けるので、修正した方が良いのではないかと。
- (森委員長) 良い評価を受けているものに関しては、具体的に記載してPRした方が良い。
- (事務局) 一行追加して広報紙に関するコメントを記載する。
- (森委員長) ホームページに関しては、「分かりやすく使いやすいものへの変化を期待する。」と修正してはどうか。
- (楠委員) それでは今現在、使いづらいように思われてしまう。ホームページ自体は大変充実しており、批判すべきものではない。「分かりやすく見やすいものへの変化を期待する。」にしてはどうか。
- (事務局) そのように修正する。

2. 情報提供に向けたツールの活用

- (森委員長) 意見はあるか。
- (岡本委員) 現状の登録者数と数値目標とコメント欄の新規登録115人との関係性が分かりづらい。注釈で退会された人数等も記載して、数字の妥当性を分かるようにすべきではないかと。
- (楠委員) 「新規で115名の登録があり、登録者数は合計で921名に達したことは評価できるが、」という文言にした方が、簡潔で分かりやすいのではないかと。
- (森委員長) コメント欄は簡潔に書いた方が分かりやすい。達成状況を追記して行間を読んでもらうようにしてはどうか。そのように修正してほしい。他に意見はあるか。
- (松本委員) たけまるモニターの活用方法にも疑問を感じる。アンケートは広報紙に対する感想ばかりで、幅広く市政に反映させる気が無いように感じる。
- (森委員長) コメントで、たけまるモニターの改善に触れていない訳ではないが、少し分かりづらいようにも思う。新たにコメントを追記する方法もある。
- (松尾委員) H25年度の主な取組の欄には、たけまるモニターの効果的な活用との記載があるがコメント欄でそれに触れていないので、ぼやかしているような印象を受ける。どのように効果的に活用したかを先に記載すべきではないかと。
- (藤堂委員) そもそも取組状況の内容に「効果的に活用してもらえるように」と記載があるが、アンケート結果を活用して市政に反映するのは市側なので、書き方に違和感がある。修正してもらいたい。
- (奥田委員) アンケート内容に新規事業や既存事業に対する意見の募集は全く無い。

取組目標に記載されている内容と差があるように思う。

- (岡本委員) 何のためにモニタリングを行うのかということとモニタリングを行った結果をどのように活かしたのかということは、はっきりと記載するべきだと思う。
- (森委員長) 意見をまとめると、コメント欄に登録者数の合計を記載することと、最後に市民の意見を積極的に市政に活かしていくという具体的な文章を追記するという事でよろしいか。
- (松尾委員) 効果的に活用することが目標なので、そのように記載するべきだと思う。
- (岡本委員) パブリックコメントについても、意見記入様式の見直しだけでなく、フィードバックを重点的に行ってほしい。その旨を記載してもらいたい。
- (事務局) パブリックコメントについては条例に基づいて実施し、フィードバックも行っている。目標である提出意見等件数の増加に向けて、前向きなコメントを記載したい。
- (藤堂委員) パブリックコメントの提出件数を増やすには、市民に意見が反映されたことを分かるようにしておくことが重要である。
- (岡本委員) 昨年の委員会でも、行政改革大綱後期行動計画案に対し、提出されたパブリックコメントについて時間をかけて議論した。そのことは提出者に伝わっているのか。
- (事務局) 提出者に対して個別にフィードバックをすることはないが、意見を提出される方はホームページをご覧いただいていることが多いので、確認されていると思う。提出数が急に増えることはないので、継続的に制度を改善するという文言をコメントとして記載している。市政に対して関心を持っていただけるように毎年改善していきたいという思いでいる。
- (奥田委員) パブリックコメント提出者に対して、メールや手紙なりで提出のお礼の返信はしているのか。
- (事務局) その時点での返信はしていない。最終的にはホームページで公開しているので、それを確認していただいていると考えている。
- (森委員長) 方向性についてはまとまったように思う。コメントについては修正後、再度検討する。

3. 市民からの政策提案制度の導入

- (森委員長) 意見はあるか。
- (各委員) 特になし。

4. 市民、NPO など協働のパートナーへの支援

- (森 委 員 長) 意見はあるか。
- (岡 本 委 員) 前回の議論の際にも意見が出ていたが、人数が多く組織力に勝る団体が支援を勝ち取ってしまっている。団体数だけにこだわるのではなく、推薦制度を作るなど、組織力の強い団体に支援が偏らないよう工夫をするべきではないか。「小さな団体にも支援できるよう工夫する」といったコメントを評価結果に盛り込んでほしい。
- (事 務 局) 市が推薦することは難しいが、小さな団体も支援できる方法は検討したい。
- (藤 堂 委 員) 全体ではなく、分野の枠組みを作れば小さな団体にも支援が行き渡るのではないか。
- (松 尾 委 員) 申請の手続きが煩雑だと申し込む団体が減ってしまうので、手続きの簡略化も団体数増加に繋がるのではないか。
- (森 委 員 長) 団体が正当に評価されて活動できる仕組みの構築が必要。コメント欄に追記してもらいたい。他に意見はあるか。
- (各 委 員) 特になし。

5. 参画と協働のまちづくりを進めるための指針の策定・運用

- (森 委 員 長) 意見はあるか。
- (各 委 員) 特になし。

6. 市民自治協議会の導入に向けた取組

- (森 委 員 長) 議論の内容はコメントに反映されている。意見はあるか
- (松 山 副 委 員 長) 各地区において取組は進んでいるのか。
- (藤 堂 委 員) 鹿ノ台小学校区については進んでいるという話しは聞かない。柔軟に考えないと進まない状況である。
- (岡 本 委 員) 市は、門戸を開いて市民側からの積極的なアプローチを求めている。しかし、現状として市側から積極的に働きかけていかないと市民自治協議会を設立するのは難しいように思う。
- (藤 堂 委 員) 今は担当課である市民活動推進課だけ動いている。全庁的に取り組む体制をつくらないと達成が困難だと思う。
- (松 尾 委 員) 市がすべきことを市民に丸投げした印象を受けた。
- (森 委 員 長) 行政が積極的に関わる必要がある。コメントに「行政側も柔軟かつ積極的に関わるなど、」とあるが、「行政側も積極的かつ柔軟に関わるなど、」に順番を変更したほうが良いように思う。他に意見はあるか。
- (各 委 員) 特になし。

7. 総合計画に基づく施策・事業の進行管理

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

8. 行政の守備範囲の検証と事務事業の精査・改善

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

9. 外部監査制度の導入の検討

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

10. 民間委託の範囲の拡充など民間活力のさらなる活用

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

11. 指定管理者制度の導入施設拡充と効果的運用

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

12. 既存公共施設の長寿命化に向けた中長期的な計画策定

(森 委 員 長) この項目は、修繕計画だけなのか。

(事 務 局) 前期行動計画の取組としては修繕計画だけだが、後期行動計画では、長寿命化計画や公共施設白書の策定にも取組む予定である。

(岡 本 委 員) 修繕計画の立案件数は47件ということだが、この計画の中にはいつから取組むということは明記されているのか。

(事 務 局) 予算と関係してくるので、緊急性も考慮して優先順位が記載されている。

(森 委 員 長) その旨はコメントにも記載しておいたほうが良い。「引き続き優先順位を明確にした修繕計画の立案に取り組むとともに、」に修正してほしい。

(奥 田 委 員) 達成状況の47件の内訳はどのようになっているのか。

(事 務 局) 47件全て橋のことである。

(奥 田 委 員) 数値目標の11件はどのようなことが根拠になっているのか。

(事 務 局) 平成24年度の目標が5件なので、それを倍にして10件、さらに浄化センター関係で長寿命化計画があがっていたので、それを合計して11件としている。

(森 委 員 長) 達成状況の47件の後ろに、内訳が全て橋であることを明記したほうが良い。ほかに意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

13. 環境マネジメントシステムの推進による公共施設の省エネルギー化

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(楠 委 員) 記載されている発電量の単位がバラバラなので、「kWh」に統一するべき。

(森 委 員 長) そのように修正してほしい。他に意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

14. ごみ半減プランの推進

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(奥 田 委 員) 大阪湾フェニックスへの搬入は、業者に引き取ってもらうよりも経費を抑えることができるのか。

(事 務 局) 経費を抑えられるという認識である。担当課に確認する。

(森 委 員 長) 確認して、伝わるように修正してもらいたい。他に意見はあるか。

(岡 本 委 員) 「事業系ごみの減量・資源化の促進」の数値目標は排出量なので、減らすことが目標だと思うが、他の項目は増やすことが目標なので、そのことが分かりづらい。数値の前に「排出量」と明記するべき。

(森 委 員 長) そのように修正してほしい。他に意見はあるか。

(岡 本 委 員) 有料制導入に伴って、不法投棄などが増える可能性がある。そういった課題に対する対応もコメントに記載できないか。

(森 委 員 長) コメント欄に一行増やして追記できるのではないか。課題に対する市の対応を追記してほしい。他に意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

15. 財政計画に基づく経常収支比率等の指標管理

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(奥 田 委 員) 基金残高の行に（H24年度決算）と書いてあり、基金残高だけがH24年度決算だと誤解を招く恐れがある。全体に係っているように記載したほうが良いのではないか。

(松 山 副 委 員 長) 指標名/現状値の下に記載すると分かりやすいのではないか。

(森 委 員 長) 右側の空スペースに記載するのもひとつの方法である。事務局で検討して、分かりやすく改善してほしい。他に意見はあるか。

(岡 本 委 員) 数値目標、達成状況の欄に数値だけ書いてあるが、個別の指標名も併

せて記載すべきではないか。

- (森 委 員 長) その方が分かりやすい。個別の指標名も記載してほしい。他に意見はあるか。
- (岡 本 委 員) 経常収支比率がかなり改善された理由と、逆に基金残高が改善できなかった理由をコメント欄に記載した方が良いのではないか。
- (森 委 員 長) 確かに、見た人が疑問を抱くと思う。経常収支比率と基金残高についてはコメント欄に、それぞれ達成未達成の理由について記載してほしい。他に意見はあるか。
- (各 委 員) 特になし。

1 6 . 中長期的な税財源等の安定確保に向けた重点投資

- (森 委 員 長) 意見はあるか。
- (岡 本 委 員) 民間が実施した「主婦が幸せに暮らせる街ランキング」で7位に入るなど、外部から評価されていることを具体的にコメントとして記したほうが良いのではないか。
- (森 委 員 長) 外部から見た客観的なランキングなので、その方がより分かりやすいように思う。具体的な指標を入れて修正してもらいたい。他に意見はあるか。
- (各 委 員) 特になし。

1 7 . 市税の収納対策の推進

- (森 委 員 長) 達成状況 9 1 . 9 2 % とあるが全国的にもこのような徴収率なのか。全国平均はもう少し高かったように思うが。
- (松 山 副 委 員 長) 確かに低いように思う。国保税徴収率も含まれているのではないか。
- (松 尾 委 員) 取組状況の達成状況には市税合計徴収率 9 6 . 1 1 %、国保税徴収率 8 7 . 0 6 % とあるので、二つの合計なのではないか。
- (事 務 局) 現年度分の市税徴収率のみだと 9 9 . 2 % である。これに滞納繰越分 1 1 . 9 % を入れて 9 1 . 3 6 % となっている。
- (松 山 副 委 員 長) 数字だけでは分かりづらいので、どのような計算で出てきたのか記載するべきだと思う。
- (森 委 員 長) 指標名 / 現状値の欄に市税の現年度分と滞納繰越分の合計であることを記載してほしい。
- (奥 田 委 員) 全国平均と比較してどうなのか。
- (岡 本 委 員) 手元に資料はあるが、どのように計算すれば比較できる数値が出るのかが分からない。担当課に照会してもらいたい。
- (松 尾 委 員) H 2 5 年度の主な取組に「空室のある再開発住宅の入居者確保に向けた

取組」とあるが、タイトルの「市税の収納対策の推進」との関係性が分かりづらいのではないか。

(事務局) 確かに関係性が分かりづらい。取組状況に記載があるので、報告書においてこの項目は削除しても良いか。

(森委員長) 削除したほうが分かりやすいように思う。他に意見はあるか。

(各委員) 特になし。

18. 行政需要等を踏まえた職員数の適正管理

(森委員長) 意見はあるか。

(奥田委員) コメント欄に「委託業務の増加」とあるが、これは支出内訳では、物件費に含まれているのか。

(森委員長) 含まれていると思う。一般的に物件費の6割ほどが委託料である。分かりづらいが、他に記載のしようがないように思う。他に意見はあるか。

(各委員) 特になし。

19. 人件費の総額管理と能力・実績を重視した給与制度の構築

(森委員長) 意見はあるか。

(奥田委員) 時間外勤務時間の目標に対して近づけたらいいのか、単に減らせばいいのか分かりづらい。

(岡本委員) 現状と目標について、具体的な数値は出されているのか。

(事務局) 各部において、年度単位で時間外勤務時間の上限時間を設定している。それを各課に配分している。

(松尾委員) 本来ならば時間外勤務はなくすべきであるのに、上限時間を設定することはおかしいようにも思う。

(事務局) する必要がないものに目標を設定することによって、しなければならぬかのように捉えられてしまうかもしれない。コメントの書き方を検討したい。

(岡本委員) 達成度合という言葉だと、増やせばいいように思われてしまう。

(事務局) 「時間外勤務の管理に努める」と修正する。

(奥田委員) 時間外勤務時間に関するコメントが「今後も実績を重視した昇格を行うことなどにより、」と続くと分かりづらいのではないか。

(松尾委員) 時間外勤務さえないなければ昇格できるように誤解されてしまう恐れがある。

(事務局) 前後で区切って、別のコメントとして記載する。

(森委員長) 可能な限り具体的に記載してほしい。他に意見はあるか。

(各委員) 特になし。

20. 能力と意欲に応じた柔軟な任用制度の構築

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(岡 本 委 員) 「再任用制度の抜本的な再構築」と記載があるが、勤務日を週3日から5日まで選択できるように見直しをしたことか。

(事 務 局) はい。

(岡 本 委 員) 抜本的と書かずに、取組を具体的に記載するべきだと思う。

(森 委 員 長) そのように修正してもらいたい。他に意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

21. 人事評価制度の効果的な運用

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

22. 職員の資質向上・能力開発の推進

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(岡 本 委 員) 研修の目的・効果等をどのように明確にするかが記載されていない。

(森 委 員 長) 特に、効果を把握する方法については記載した方がいいと思う。そのようにお願いしたい。他に意見はあるか。

23. 重点施策を効果的に推進できる組織機構の構築と柔軟な運営

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(奥 田 委 員) 数値目標が現状値を下回っているが。

(事 務 局) 目標を設定した時点では、現状値を示す調査の結果が出ていなかった
ので、このような状況になっている。

(森 委 員 長) 他に意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

24. 現場への権限移譲の促進

(森 委 員 長) 意見はあるか。

(岡 本 委 員) 権限移譲をするのであれば、その目的を職員に周知したうえで、並行して職員のスキル向上に取組まなければ、業務を円滑に進めることができないのではないか。その旨をコメントに記載してほしい。

(森 委 員 長) 確かに職員のスキル向上は必要だと思う。コメント欄に一行加えて記載してほしい。他に意見はあるか。

(各 委 員) 特になし。

- (森 委 員 長) 取組状況評価報告書全体の内容について意見はあるか。
- (岡 本 委 員) 資料としてきれいにまとまりすぎているようにも思う。
- (松山副委員長) 仕方ないことだとは思いますが、他の参考資料を併せて読み込んで、やっ
と内容を理解することができる。市民の方がこれを見たときに、良い印
象しか持たず消化不良になるのではないかという不安もある。
- (森 委 員 長) 確かにそういう不安はあるが、補足資料も活用して理解してもらい
かないように思う。他に意見はあるか。
- (各 委 員) 特になし。
- (森 委 員 長) 最終的に、事務局で修正した報告書の内容を私が確認させていただく。
場合によっては各委員に意見を求めるかも知れない。そのような流れでよ
ろしいか。
- (各 委 員) はい。

3 閉会

【決定事項】

本日の審議内容を基に、委員長・事務局で調整の上、「行政改革大綱 前期行動計画 取
組状況評価報告書」を確定し、市長に答申する。